

2007年12月13日理事会議理事録

参加者（敬称略）

石原

松井

石井

池田

福島

横矢

MOTOKO

矢谷

●コールドブリーズの反省

・タイブレーク

旧・新ルールが混同し、一部のヒートで進行が止まった。
一度ルールブックを最新のルールに更新する必要がある。

今後ルールをインターナショナル化するためにも、
PWA から最新のルールを知る必要がある。

・ミニマムコンディション時のスタートの決定

ジャッジが協議し、最終的にはディレクターが判断する

・風が落ちてウェイティング中、次のスタートの判断

急なスタートで、選手の心構えが出来てなかったヒートがあった。
今後は旗等を使い、何分後にスタートする予定か、
逐一選手側に報告する。

・延長

例えば7分経過してからのアナウンスや、青旗があがっているとわかりにくい。
見やすい延長旗を使い、選手にわかるようにする。

- ・2週待ち

今年は全2戦のため、確実に行いたかったので、2週待ちで行いました。

来年は全3戦の予定のためありません。

また、今回2週待ちをするにあたり、経費が大幅にアップする事や

予想以上に選手側に負担がかかる事がわかったので、

今後2週待ちで、大会をやる事はありません。

- ・コンディションの問題

近頃波が割れにくいコンディションが、ロングビーチでは続いています。

例えば、風は4.5前後で吹いているにも関わらず、

波が整わずキャンセルになった日がありました。

一般ギャラリーにアピールするためにも、

今後フリースタイルの大会と、合同で開催し

吹いているけど、波が整わないコンディション時には、フリースタイル。

波が整えばウェイブと、コンディションに応じた大会が出来れば、

大会的にも盛り上がり、経費が押さえられたりとメリットがある。

しかし、どちらの競技も開催できるコンディション時に、

どちらの競技を優先させるか等、問題もある。

- その他

- ・エコ活動

既存のゴミを集めるだけのビーチクリーンから発展し、

色々なイベントを集め、新しい方法のビーチクリーン(興行的なイベント)を行いたい。

まずは全日本で、試験的に行いたいので、テントを購入し、

ビーチクリーンを行い、集まったゴミをそのテントにあるゴミ箱に集める。

また、ゴミ箱にも何かアイデアを加え、

特に子供がゴミ箱にゴミを入れて楽しめる様にしたい。

- ・競技会案内書の作成

大会を行う際、大会スポンサー一覧、参加する選手の一覧表や、

大会の見所等、パンフレットを作成し、

大会関係者に配るようにする。

まずは試験的に全日本で配る。